

# 施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

施策体系	政 策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	環境負荷の少ない社会の創造		
	施 策	1	低炭素社会	地域環境部	山本 有志

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 市民の環境問題についての理解を深め、市民一人ひとりが省資源・省エネルギーに取り組むことにより、環境への負荷が少ない持続可能な社会の創造を目指します。

## 2. 令和3年度の実施内容及びその成果



- ・第三次なばり快適環境プランの中間見直しを実施しました。国が進めるカーボンニュートラルなどの考え方を盛り込み温室効果ガス排出量削減の目標値を見直し、SDGsの各目標とプランの整合を図りました。
- ・クールビズやウォームビズなどの取組を全市的に周知を図るために広報や啓発を行いました。
- ・市職員には、エコ通勤を呼び掛け実施しました。またノー残業デーやライトダウンなどの周知を行い、事務事業に係る二酸化炭素抑制に努めました。
- ・市役所駐車場に電気自動車の急速充電器を設置し、市民に活用いただいています。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
日常生活で省資源・省エネルギーを心がけている市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	91.0	
	成果	86.4	86.5	83.2	82.7	81.0		0.0%
環境マネジメントシステム導入事業所数(事業所)	目標	-	-	-	-	-	24	
	成果	17	17	17	17	17		0.0%
市の事務事業にかかる二酸化炭素排出量(t-CO <sub>2</sub> )	目標	-	-	-	-	-	11,773	
	成果	12,380	12,380	12,256	11,789	11,303		100.0%

## 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・令和3年度に中間見直しを行った第三次なばり快適環境プランに基づき、SDGs、カーボンニュートラル、地球温暖化対策、省資源・省エネルギーの取組を進め、市民や事業者への啓発を進める必要があります。
- ・エコ通勤デーについては、時短勤務など働き方が多様化している中で、市職員が無理なく参加できる手法を検討していく必要があります。

## 5. 分析結果を踏まえた施策の実施内容(令和4年度以降)



- ・第三次なばり快適環境プランに基づき、市が省資源・省エネルギー行動を積極的に実施し、市民や事業者に対して啓発を行います。
- ・令和3年度の見直しにより第三次なばり快適環境プランに盛り込んだSDGsやカーボンニュートラルについても目標達成に向けた施策を推進していきます。
- ・新型コロナウイルスの影響が長期化した場合であっても、地球温暖化対策などの周知・啓発などが持続的に進められるよう、インターネットなどを活用した啓発の実施を進めます。